

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実践を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

3 包括的支援事業（社会保障充実分）

湖西市の現状や方向性

→■実施・既存資源 □今後検討案・内容等未定の方向性等事項

① 在宅医療・介護連携推進事業

ア) 地域の医療・介護の資源の把握 :

(データ)

参考) 今後改修しますが、
現時点参考公開URL

<http://opendatahamanak.o.github.io/caremap/>

(紙媒体)

(調査・把握)

■民間委託：マップ作成と管理（高齢者マップ）.....H29.7 契約

→既存システム情報統合、予防の情報も集約し委託

→既存システム先のリンク

→県等へ既存システムデータをオープンデータ提供依頼と調整

□マップ追加したい情報調査や情報収集

■申込と活用促進：県在宅医療・介護連携情報システム（シズケア）

□Web-GIS 活用（項目作成に費用が掛かる、メンテナンスも各課自前となる）

■湖西市医療機関一覧リスト（健増課）

■包括支援センター・介護事業所一覧（長介課）

■~~お医者さんマップ：2011 年（健増課）増刷なし~~

■在宅歯科医院一覧

■浜名医師会委託：医療資源調査把握しリスト化

■既存資源把握調査：あるものないもの、統合必要性検討

→介護サービス情報公開システム

→医療ネットしずおか 等々既存システムやマップあり

イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 :

■会議開催

■浜名医師会委託：参画・課題検討抽出

■協議会設置：H28 準備会、H29 設置（初回 7 月開催）

□地域包括ケアシステム推進会議：市レベル地域ケア会議相当会議設置

ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制構築 :

■設置済：24H訪問看護ステーション

■民間委託：緊急通報システム事業

■医会委託：休日夜間救急診療（健増課）

■往診実施医療機関：調査とまとめ

		<ul style="list-style-type: none"> ■浜名病院包括ケア病棟 ■湖西・浜名病院在宅支援相談室 □この他、課題検討し体制検討
エ)	医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■浜名医師会委託：手順を定めた共有ツール整備支援 ■県在宅医療・介護連携情報システム（シズケア）活用：市は利用促進への支援実施（説明会、操作説明、各種調査等） (紙媒体) ■もの忘れ相談連絡票活用：(長介課) ■主治医相談票活用：(長介課) ■入院時情報提供書：(長介課) ■支えあい手帳（認知専用）の活用：(県)
オ)	在宅医療・介護連携に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ※設置場検討し交渉中 ○医療機関設置委託 案 <ul style="list-style-type: none"> ・医療側の情報強化や退院支援等の相談に強く、在宅医療への体制が整い理解が得られることを考慮し医療と介護の架け橋となりうる医療機関へ設置検討 ○他案 医師会委託案、直営案 等々
カ)	医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> ■浜名医師会委託：多職種Gワーク、講演会等実施 ■多職種講演会：歯科医師会実施の講演会（歯科医師会補助金内？）や企業等各分野が実施する多職種講演会あり
キ)	地域住民への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■浜名医師会委託：市民講演会開催、パンフ作成配布 ■県や関係団体が行う研修会活用や周知（協力） □パンフ、広報、ホームページ活用へ
ク)	在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	<ul style="list-style-type: none"> ■地域包括ケア推進ネットワーク会議 出席（浜松も同位置づけ） ■西部地域医療協議会 出席（4/27 県確認済み） □イ会議にて協議し、必要時関係市等と検討協議 □必要時、イ会議にて愛知県及び三河方面との連携必要性検討か □必要時、愛知県の情報収集